

●向日市役所(〒617-8665 京都府向日市寺戸町中野20)

●編集 秘書広報課

●電話 075(931)1111

「物集女王」王?!

葬られている人物は

乙訓地域を

まとめた



物集女車塚古墳の春の一般公開が始まります。
物集女町南条にある車塚古墳は、6世紀中頃の前方後円墳です。全長約45m、後円部直径30m、高さ8mと、乙訓地域一帯を治めた豪族の墓であるとされています。
ふだんは非公開の石室をこの機会に探索してください。
■日時 5月12日(水)～18日(火)午前10時～午後4時
■申込 5月11日(火)までに文化資料館☎931-1182へ

車塚古墳の埋葬者(物集女王)は、その副葬品から西暦550年頃と推定されます。享年40～50歳とすると、誕生は6世紀の初めとなります。

物集女は、10,000年以上昔から人々が住む集落であったことが伺い知れます。

6世紀中頃、大和政権では王家の跡目をめぐり、大変混乱していました。車塚の石室から出土したガラス小玉などの数々の貴重な埋葬品から、多くの地域との交流が確認され、新たな王を迎える権力争いの中で、物集女王は活躍していたということが出来ます。

平成4年12月から平成7年1月に行った古墳調査・整備では、副葬品として金銅製冠の断片や馬具、鉄製の武器などが発見されています。

現在、その一部を文化資料館で展示しています。

古墳をどのように作ったか

■古墳の設計

車塚は、大王から認められた前方後円墳という形をとる。北側があまりくびれない、やや特異な非対称形となります。

■古墳の造成

尾根上の雑草や木を焼き払い、尾根を切断し、濠を掘削して大体の形を整えると、尾根の切断時にでた土砂を用いて、墳丘の造成を行います。

■横穴式石室を作る

北山城地方でいち早く高度な石材積み上げ技術が必要な横穴式石室を採用した。天井の石は1トン以上の重量があります。

■前方後形部の完成

石室が完成すると古墳の形が整えられる。黒色の粘土と土砂をつき固めながら形を造っていく。埴輪を据えるテラス部分も造られます。

■埴輪・葺石

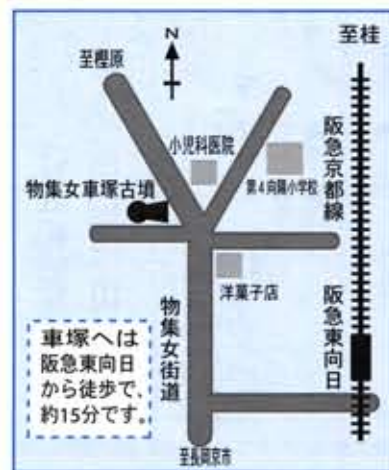
形が整うと古墳の化粧が始まる。テラスと呼ばれる段の位置に円筒埴輪や朝顔形埴輪が並べられ、上の斜面には人頭大の石が並べられます。

■石棺を組み立てる

石棺は底石3枚、蓋石3枚、長い罫石2枚、短い罫石2枚の計10枚の部材でできており、各部材には4種類の線刻があり、石棺を組み立てる際の目印にしました。



物集女車塚古墳一般公開 石室内部を 探索しよう



向日市内の古墳

おすすめ スポット

あなたも 歴史研究家に

向日市内には、車塚古墳をはじめ現存する多くの古墳があります。少し足をのびして、ご家族や友人と探索されるのも、楽しいですよ。

もといなり 元稻荷古墳 向日町北山



向日神社北側の勝山公園内にあり、古墳時代前期(4世紀初頭)の全長約94mの前方後方墳。埴輪の原型となる特殊壺形土器や特殊円筒埴輪も前方部から出土しています。周辺には、弥生時代の高地性集落である北山遺跡があります。

DATA 全長94.0m 後方部一辺52.0m 高さ7.0m 前方部幅46.0m 高さ3.0m 壺穴式石室 5.6m×1.0～1.3m 高さ1.9m

いつかはら 五塚原古墳 寺戸町大牧



寺戸町芝山「はりこ池」西側の山頂にあり、古墳時代前期(4世紀)の全長約94mの前方後円墳。典型的な古墳時代前期の形をしています。しかし、発掘調査が行われていないため、詳細は不明です。散策道があり古墳頂上まで登れます。

DATA 全長94.0m 後円部径54.0m 高さ8.5m 前方部幅36.0m 高さ4.0m くびれ部幅18.0m 後円部・前方部に墓壇(ぼこう)